

そなれ松のように

令和5年度
銚子市立高神小学校だより
令和5年6月19日
VOL. 13

インドネシアの小学生と交流しました

6月6日(火)から7日(水)にかけて、インドネシアの小学生が高神小学校に来校しました。(SD Muhammadiyah 4 Surabaya校の4年生～6年生12名と交流)

子ども達の心に残る交流になったのではないかと思います。簡単に紹介します。

<主な流れ>

6月6日(火) 13:30～15:00

○受け入れ式

6年生が代表してお迎えしました。インドネシア児童の自己紹介の様子は、1年生～5年生まで、全校配信しました。その後、6年生は自己紹介ゲームを通して交流しました。名前をサインした用紙は、よいお土産となったことでしょう。

○1・2年生との交流

「かもつれっしゃ」で少し体を動かし、「ジャンボリミッキー」で一緒に踊りました。1・2年生がとても元気に踊ってくれたので、インドネシアの児童も真似をして楽しそうに踊っていました。ダンスの楽しさは、世界共通ですね。

○3・4年生との交流

運動会で披露した「追いかけて玉入れ」を一緒に行いました。結果は、1勝1敗の引き分けでした。初めての競技でも、分かりやすいデモンストレーションを見せてくれたので、インドネシアの児童もすぐに理解できたようでした。短い時間でしたが、迫力ある玉入れの様子が見られました。

6月7日(水) 9:00～12:15

○学校案内

1時間目の授業の様子と、高神小学校の各教室を見てもらいました。低学年図書室や高学年図書室にはとても興味があるようで、いろいろな本を手にとって見ていました。音楽室では、上手にピアノ演奏をする子もいて、思わず拍手しました。

○5年生との交流

外国語の授業を一緒に受けました。後半は英語で自己紹介をして、お話をした相手の名前をサインしてもらいました。はじめは恥ずかしがっている様子も見られましたが、だんだんと打ち解けてきたようで、後半は笑顔で自己紹介していました。

○6年生との交流

前半は、銚子の伝統的な踊りである「大漁節」と「やっぺ踊り」を見てもらい、その後一緒に踊りました。大漁節は細かい動きがあるため、真似をするのも難しかったと思いますが、雰囲気は感じ取ってもらえたのではないのでしょうか。

後半は、「昔の遊び」を体験してもらいました。けん玉、おはじき、あやとり、だるま落とし、お手玉、コマ、羽子板などのコーナーをつくり、順次回って遊びました。けん玉やコマなどは、悪戦苦闘する様子が見られましたが、日本の遊びを十分に楽しんでもらえたと思います。

○インドネシア児童の発表

お礼を込めて発表したいとのことでしたので、全校児童で聞きました。日本語による「かぐや姫」の朗読や英語による暗唱などを女子児童が披露し、その後全員で「ベストフレンド」を歌ってくれました。日本語での合唱だったので、相当練習したのではないかと思います。上手な日本語に、みんなが感動しました。

○お別れ式

感想をお互いに発表して、記念品を交換しました。本校からは、110 cm×180 cmの大漁旗を贈りました。これは学区にある小澤染工場で特別に作っていただきました。短い期間にも関わらず、快く引き受けてくださり、ありがとうございました。

